

～ 睡眠時無呼吸症候群（S A S）～

● 睡眠時無呼吸症候群（S A S）について

S A Sとは、寝ているときに何度も無呼吸や低呼吸を繰り返し、熟睡できずに昼間の眠気や、起床時の頭痛などをはじめ、さまざまな合併症を引き起こす病気です。

睡眠中に大きないびきをかく、夜中に何度も目が覚める、日中傾眠や居眠り運転をよく起こしそうになるなどの症状があり、日本人の2～3%の潜在患者がいると推定されています。

重大な交通事故や、産業事故にもつながりかねない怖い病気です。



● S A S が招く合併症

S A Sは、さまざまな生活習慣病を合併すると言われ、S A Sでない方と比べると次のような危険性が報告されています。

●高血圧の危険性は**2倍**



●冠動脈疾患の危険性は**3倍**



●心筋梗塞の危険性は**4倍**



●脳血管障害の危険性は**4倍**

